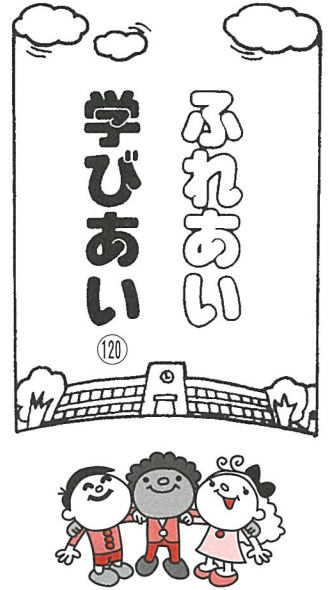


体験 レポート

国際理解教育の推進を図るため、7月24日から8月15日にかけて、国際ロータリークラブが行っている交換留学生に塚本有美さんがアメリカ・ボストンへ、また、9月19日から26日にかけて姉妹校として交流をしているアメリカ・メイビル中学校に佐久間亮拓さん、國方祐輔さん、斉藤早紀さんが訪問しました。



海を越え、 新しい友達と出会う 中学生海外派遣

中学生交換留学

交換留学を 終えて

3年 塚本 有美

私は夏休み、アメリカのボストンに三週間ホームステイしました。アメリカでの生活は日本とは全く違いとまどつてばかりいました。玄関で靴を脱がなかったり、お風呂はシャワーだったり、食事のときご飯は出なかつ

たりと、他にもたくさんの事が違いました。

一週間があつというまに過ぎ、私はキャンプに参加することにしました。そのキャンプはマサチューセッツ州の各高校の代表が集まり、自分達の高校について話し合うというものでした。アメリカの人達は私が誰だかわからないのに、私に優しく声をかけてくれました。それに私は英語を上手に話すことができないのに、みんな一生懸命になつて私の話していることを聞いてくれました。このキャンプでみんなは学校の良さを知つたと思います。私はこのキャンプで人の暖さを知ることができました。



アメリカ・ボストンで

飛行機に乗りボストンの町並が小さくなつていったとき私は

「短期交換プログラムが終わったんだな。」と思いました。でも、これが終わりではないと気づきました。「全ての終わりは、全ての始まりだ」この言葉は交換留学生のスーザンが言った言葉です。私はこの言葉が大好きです。なぜならば、今の私にあつていると思うからです。私はこれから一生懸命英語を勉強し、将来またアメリカに行きたいと思つています。それが私の目標であり、小さな夢です。交

メイビル中訪問

2年 佐久間亮拓

飛行機で約11時間かけアメリカに到着しました。アメリカに着いてからは、ミシガン湖を見に行きました。九州がすっぽり入るといふその湖は、まるで海のように、アメリカがいかに大きいかということ、まのあたりにしました。

翌日、メイビル中へ行き、ホームステイ先の家族の家

換プログラムはそのためのものではないかと思えます。将来、この短期交換プログラムで出会った人とまた会いたいです。そして、みんなに「ありがとう」ともう一度言いたいです。

この交換プログラムを通して支援していただいたたくさんの方々、本当にありがとうございました。この交換プログラムは、私にとって素晴らしい思い出となりました。

に行きました。その家はとても大きく、中には、暖炉や地下室があつたので自分の家にもあつたら良いなと思いました。

次の日は、小学校に訪問しました。僕達はその子供達に、日本の遊びを教えあげました。こまやお手玉、おり紙や紙ふうせんなどを一緒にやつたのですが、みんなとても喜んでくれて、僕達もとても楽しく過ごすことができました。